



真冬に輝くホタル

エンフアムガラン チメドツェレン
ENKH AMGALAN CHIMDTSEREN

蛍は日本の清流に住む昆虫で、6月中旬から7月初旬にかけて夜空を飛び回り、幻想的な光を放ち見る人を感動させます。私は子供の頃、祖父が暮らしているトゥブ県の草原でたくさんの蛍を見て、美しくとてもきれいだなと感じた事を今でも、しっかりと覚えています。

日本に来て10ヶ月経った今日は頬まで凍るかもしれないと思う位、寒い冬の夜、いつも通り仕事を終え帰宅する準備をしました。とても寒いので早く家に帰らなくては、と思い自転車に乗り、急いで家に向かいました。いつも通っている川沿いの、うす暗い道を通り、あと少しで家に到着すると思うと、少し気がゆるみました。急に後ろから速度を上げた自動車が「ブーブー」と、けたたましくクラクションを鳴らしながら私を追い越して行きました。驚いて緊張した私は、自転車のハンドルを川のある右側に切っけてしまい、このままでは川に落ちてしまうと感じました。私は自転車の速度を落とせないままハンドルを元に戻しました。前を見ると蛍のように黄色に点灯した光が近づいている事に気がつきました。自転車が倒れる位、力強くブレーキをかけて、なんとか停止するのと同時に真冬なのになんで蛍がいるのかと驚きました。徐々に人の姿が見えたと思ったら「あなた大丈夫。転ばなかった」、「ケガはしていない」と優しくおばさんが声をかけてくれました。もし、あの蛍のような点灯がなかったら、私は、

おばさんに自転車をぶつけてケガをさせていました。冷静になり周りを見渡すと、あちらこちらで黄色や赤色などの小さな光が点灯している事に気がつきました。おばさんに「大丈夫です。ケガはありません」、「すみませんでした」と伝え、自転車の速度を落として家に帰りました。部屋で落ち着いた私は、日本で暮らす人々が夜、必ず懐中電灯や蛍のように光る反射バンドを持って散歩やジョギングをする理由をやっと理解する事が出来ました。天気の悪い日や街灯の明るさがどのような状態であっても、皆さん一人一人が電灯を持っています。自分の存在を自動車や自転車に知らせる事で自分の身を守り、人に迷惑を掛けないように生活しています。皆さんが社会の一員として責任を持ち生活をする事はとても素晴らしい生き方であると思っています。

今、私はいつでも止まれるようにゆっくりとした速度で自転車に乗っています。もちろん蛍のように輝き続ける反射バンドをつけています。この反射バンドのおかげで今日も安全に通勤や買い物を楽しむ事が出来ます。モンゴルでもこの反射バンドを着けて外出すれば、交通事故により、悲しい思いや痛い思いをする人が減ると思います。今日は、どんな色に輝く蛍が見えるかなと思いつつ、自転車で家路に向かいます。

受賞の喜び



国 籍 モンゴル
職 種 機械検査
実習実施者 藤田螺子工業株式会社
監理団体 九州ネット協同組合

エンフアムガラン チメドツェレン

第31回作文コンクールで私の作文を優秀賞に選んで頂いて本当に嬉しく思います。

この作文は自分の経験を基に母国の人々にも行って欲しいと思う事を書きました。モンゴルには「小さな事が大きな影響を及ぼす」という諺があります。例えると「懐中電灯や反射板のような小さな明かりでも自分の命を守る大切な物であるので軽んずるな」という意味となります。母国の人々も日本のように一人一人が責任を持ち生活すれば「素晴らしい国になる」と願う気持ちを作文にしました。

今回受賞出来たのは、いつも私達を応援してくれる藤田螺子工業(株)、九州ネット協同組合、モンゴルのベウラLLCの皆さん、そして実習生の仲間の協力があったからこそと心から感謝しています。

指導員のことば

チメドツェレンさん、優秀賞を受賞され、おめでとうございます。
昨年は惜しくも受賞出来ませんでしたが、今年を受賞されましたね。
日本での生活をとてもよく観察された作文内容で、とても感心しました。

チメドツェレンさんは、的確に業務を行い、明るく温厚な性格で職場の活性化に協力してくれています。また、日本語学習にも熱心に取り組んでおり、我々も自ずとサポートしたい気持ちになります。これからも、日本での技能実習・生活を充実し、活躍される事を期待しております。

藤田螺子工業株式会社 品質保証部 技能実習指導員 酒井 宏和